



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

高橋徳治商店 高橋英雄社長より

「3.11」は忘れない!!

力になり笑顔になり、自ら光となる 心の復興。



2019年1月15日
高橋徳治商店（宮城県東松島市）
代表取締役 高橋英雄

2011年6月工場を再開するか悩み続けた。結果「ここ被災地で必要とされる会社になる」「会社のスタッフにも必要とされる会社になる」「スタッフは、ここで必要とされる人間になる」……………会社とスタッフは「力になり笑顔になり、自ら光になる」と新工場落成式の2013年7月に誓ったことは忘れない。

自分だけ、お金だけ、今だけという特にここ被災地で、人の痛みを思いやりやささを忘れないという当社のスタッフに変わっていったのは、全国からの多くの支援者の思いと、被災者が持った厳しい経験がそうさせたのかも知れない。

しかし何より 苦しみながらも自分と向き合う年月が、そういう選択をさせたと考えたい。当社はそのきっかけを提供しただけ。すてきな組織が出来上がっていることを自慢したい。

そして三年前からの構想だった 野菜加工場の建設と引きこもりの若者たちの就労支援で日々の作業を通じて並走しながら、彼ら彼女たちと支援してきた当社のスタッフがもっと深く

人間的に変わっていくことになる。お金では買えない、お金に代えられない、大事なものを身につけ続けている。

その日々の作業では手が痛くなり立ち仕事で足が張り、若者たちは、時に休み、午後から帰り、或いは午後からしか出社できず、或いは長期に休みながら、振り返りシートに本音を書き出し始めた。

しかし本音の奥の心の揺らぎやささくれには、当然ながら自ら触れようとしない。

毎日の作業や会話で 開かずの扉の奥が垣間見れるまで 当社のスタッフと若者たちの日々の事ごとのどろどろしたかつこ悪い悩みは、きっと可能性を作っているんだとある日に気付かされた。

野菜加工場は、目的であり手段だとこの一年スタッフが悩みながら頑張ってきたが、振り返ればこの一年は当社のスタッフを変えて何より若者の笑顔や言葉や日々を変えて自己肯定を増やし「そうだね!楽しい一年だった」と。

頑張ります。遠いですが、心の復興が決してかっこうが良くなく、こんな地道ですが、お近くに來られることがあればぜひ、お立ち寄りください。

有難うございました。

第 83 回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2019 年 2 月 4 日 (月) 常総生協本部組合員
室 13 時半～ 16 時 組合員 12 人参加。

チーム活動報告のほか、ヨウ素剤配布、東海第
二原発地元説明会、東海第二原発裁判などにつ
いて情報交換しました。

★チーム活動報告

○市町村のセシウム測定データ収集

流山市の 12 ～ 1 月の検査で群馬県産の鹿肉・
猪肉 6 件すべてから検出されました。ジビエ工料
理が人気ですがご注意ください。

○DVD 貸出

ニュースレターに感想文「小さな上映会便り」
を掲載予定です。DVD「スーパーサイズ・ミー」
の購入を検討しています。

○土壌調査

取手の検査結果が出ました。次回のチーム会議
で結果報告を話し合います。

★ 2019 年 2 月 10 日 (日) のヨウ素剤配布会
の準備、スケジュール・役割分担確認を行いま
した。これが印刷される頃には配布会は終了し
ていますが、参加する皆様にとって有意義で楽
しい機会にしたいと思っています。

交通費だけで遠方から来られる先生方、無償で
協力してくださる看護師や薬剤師の方、主催の
生協にカンパをお願いします。

★次回は、3/4(月)13 時半～ 16 時 (生協本部)
の予定です。委員会はどこでも自由に参加で
きます。関心のある方はお気軽にお越しくださ
い。

増資協力をお願い!! 「注文なしでも増資しますメンバー」募集!!

(増資とは)

増資とは後から出資金を増やす事を言います。通常の任意増資は注文用紙の任意増資欄に何
も記載が無ければ 100 円の増資になります。記入欄に【99】と記載されると増資しないという
事になり、増やしたい場合は 1 口 100 円単位で数字を記載すれば増資されます。生協の基盤を
少しずつでも強くしていくために、多くの組合員が増資に取り組んでいます。組合員の出資金
を原資に、配達する箱やコンテナの定期的な購入。トラックなどの高額な資材購入時にも役立つ
ています。

(「注文なしでも増資しますメンバー」とは)

注文が無しの場合でも増資は可能です。注文休みでも増資だけは協力したい。という方のた
めに、「注文なしでも自動増資メンバー」を募集しています。※現在は増資の記載していないで
注文が無い場合は増資していません。

下記の用紙に必要な要項を記載の上、供給担当にお申込み下さい。増資への取り組みは組合
員本人との合意形成が必要なため、筆跡での書類提出とし、生協で保管します。ご協力よろし
くお願い致します。

----- キトリ -----
「注文なしでも増資しますメンバー」に登録します。

組合員 NO : _____ コース名 : _____ 組合員名 : _____

口数 : _____ 口 ※ 1 口 100 円

福島原発事故での被ばくによる「子どもたちの血液検査」終了のお知らせ（告知）

2019年2月20日 常総生協 理事会

2011年3月の福島第一原発事故による被ばくを受けて2013年1月から甲状腺エコー検査・血液検査を実施してきました。昨年（2018年）12月に「常総生協子ども健康検診運営委員会」のメンバーを呼びかけて2019年開催に向けて話し合いをし、理事会にも報告致しました。結果、子どもたちの血液検査の方を終了する事と致しました。

「血液検査」は、事故後の空間線量率調査、土壌放射能調査の結果で私たちの生活エリアが「放射線管理区域」の放射線レベルにあること（病院のレントゲン室・CT室のように法律上そこで生活してはならない区域：表面汚染密度がガンマ線で40ベクレルを超えるエリア）、そして国によって「汚染状況重点調査地域」に指定されたことにより、子どもたちの健康調査を生協として実施することが理事会で決定され、生協内に「子ども基金」を設立し、組合員からの資金を集めて甲状腺検診とあわせて実施してきました。

甲状腺検診は「関東子ども健康調査支援基金」により関東エリアでの検診が継続しておりますが、「血液検査」は常総生協独自の取り組みとして継続してきました。

血液検査の目的は

- ①甲状腺ホルモン数値を調べて甲状腺機能障害がないか
- ②白血球の様子を調べて「免疫力の低下」がないか
- ③「小児白血病」の発症がないか

でした。

いずれも、放射線被ばくによる広島・長崎の被ばく者データ、およびチェルノブイリ原発事故による健康影響という過去の事実に基づく検査で、原発事故による現実的な「被ばく」は初めてのことであったことから「何が起きるかわからない」という予防原則のもとで、協同組合として組合員家族の健康を見守ることを目的に、組合員の協力をいただいて実施してきました。

常総生協での6年間の検査結果で、①につきましては幸い事故時18歳以下では小児甲状腺がんは発見されておらず、それによる甲状腺ホルモンの異常も見つからなかったこと。②につきましては集団として事故後の白血球数の低下傾向（免疫力の低下）があるのでは

との見解もありましたが、事故後は放射線の高い外での子どもたちの行動を制限したことによるのではとの判断がなされています。③につきましては広島・長崎で被ばく後2年から過剰発生しはじめたという知見や英国での放射線と小児白血病の大規模症例対照研究もあって心配されましたが、今のところ小児白血病は発見されておりません。

①の甲状腺機能異常は「関東子ども健康調査支援基金」での甲状腺エコー検査で異常があった場合、病院での精密検査で血液検査も行われることから、事後的でも検査できる体制になっています。

（※但し福島県での小児甲状腺がんは200名を超え、また小児白血病罹患者数も福島県では全国平均を超えており、心配です）

以上の生協での6年間の検査結果を踏まえ、また組合員からの寄付による「子ども基金」もほぼ使い終えたこともあり、初期被ばく後の組合員家族の健康への役割は果たせたのではと判断をいたしました。

「原発事故後の被ばくで数年の間に子どもたちに何が起きるかわからない」と考え、できる範囲で子どもたちへ最善を尽くそうと組合員がみんなで力を寄せたこと、現時点では健康への重大な影響が生じていないことは本当によかったと考えます。

「世界戦争の時代」から引き続き「核の時代」に生きて、近く原発事故で「被ばく」という経験をしてしまったわたしたちですが、子どもたちには何とか健やかに生きてほしいと願います。そして大人の責任として二度とこのような被害や心配を繰り返さない社会をつくる責任があります。

しかし現実には、福島第一原発事故を教訓とすることなく再び原発は再稼働を始め、福島よりもっと近く、地元の古い原発＝「東海第二原発」を動かそうとしています。

先日は2011年原発事故直後の事を思い起こして原発事故に備える安定ヨウ素剤の配布を行いました。原発がまだ存在している日常に対して「備え」ながら、被ばくの心配なく安心して暮らせる社会に向けて引き続きみんなで力をあわせていきたいと思っておりますので、どうか組合員の皆様の心を寄せて頂けますようよろしくお願い致します。

常総生協「子ども健康検診」開催要領

【開催日】 2019年5月12日(日)

【会場】 守谷市 常総生協本部2F組合員室
(守谷市本町281 TX守谷駅徒歩7分)

【定員】 120名

【検診内容】 甲状腺エコー検査

【時間】 11:00 ~ 18:30

担当医師 田中優美子医師 (がん研有明病院)
坂口智一医師 (みさと健和病院)

(検診実費) 2,000円

(検査内容) のう胞、結節の有無・数・大きさ

【申込要領】

・オンライン申込書 <https://goo.gl/vU4AWQ> ↓
または下記「検診申込書」にご記入の上、生協まで提出してください。



オンライン申込書

・**申込〆切：3月22日(金)**

(FAXでもOKです。0297-45-6675)

・受診希望時間は、希望時間帯が定員を超える場合、前後に調整させていただく場合があります。

・検診実費、自己負担金は当日受付にて。

(主催) 関東子ども健康調査支援基金

(協力) 常総生協子ども健康検診運営委員会

5/12(日)検診スタッフ協力をお願い

●検診当日のスタッフとしてお手伝いしませんか？

関東子ども健康調査支援基金では各地区で検診運営委員会を立ち上げて検診をみんなで実施しています。生協でも医師、技師、受付、案内、記録(PC入力)まですべて組合員がスタッフになって検診を開催しています。すでにスタッフ登録をして頂いている皆さまには上記日程でのご協力をよろしくお願いいたします。また新たにスタッフとしてお手伝いして下さる方も募集します。検診を受ける家族でスタッフになって頂けると、受診者の気持ちになって検診の運営ができますので大歓迎です。

キリトリ

甲状腺検診申込書	【保護者登録情報】		検診を受けたことがある方		はじめて生協(または子ども基金)の検診を受けられる方		
	お名前 (ふりがな)		年齢	ID番号 (6桁)	生年月日	性別	
					西暦 年 月 日	男・女	
	コース名		班名		組合員 No.		
	【希望時間】 希望時間帯に○してください 広めに設定してください			11:00~13:00・13:45~16:00・16:00~18:30 その他 ()			
	【受診者登録情報】		検診を受けたことがある方		はじめて生協(または子ども基金)の検診を受けられる方		
	受診者	お名前 (ふりがな)		年齢	ID番号 (6桁)	生年月日	性別
						西暦 年 月 日	男・女
						西暦 年 月 日	男・女
						西暦 年 月 日	男・女
				西暦 年 月 日	男・女		

【検診ボランティアスタッフ協力申出】

検診ボランティアに参加・協力します。

コース名 _____ 班名 _____ 組合員 No. _____ お名前 _____

全日 ・ 午前 (10:00~13:00) ・ 午後 (13:45~18:30) ・ その他 ()

(仕事内容) 受付・案内・ベッド横介助・PC入力 (すでに経験しているところ、やれそうなものに○)